トステム株式会社

ほせるんです（スタンダードデッキ納まり）　取付け説明書

MAF-698B
7-961246.②.⊗

●この説明書は施工完了後、施主様へお渡しください。

施工される方へのお願い

●本製品の施工に際しましては、レーネテラスⅡ本体・ほせるんです（レーネテラスⅡ接続タイプ）本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
●施工およびご使用上の注意事項は、「ほせるんです（レーネテラスⅡ接続タイプ）本体取付け説明書」の冒頭に記載してありますので必ずお読みください。
●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

●下記の内容を厳守してください。

	開　口	出　幅	制　限　内　容	
スタンダードデッキ納まり	2.0間以下	4尺以下	・ほせるんですを取り付けられるバルコニーは、規格品だけです。特殊仕様のバルコニーには取り付けられません。 ・スタンダードデッキ以外へは取り付けられません。 ・屋根置き式には取り付けられません。 ・テラスには必ず補強けたを使用してください。 ・テラスサッシは取り付けないでください。	・サッシ・ドア以外の開口部には樹脂板を使用してください。 ・窓台およびFix窓台の上端は、床面から1,100mm以上の高さに設定し、開口部には3mm以上の樹脂板を取り付けてください。（ガラスは取り付けないでください。） ・窓台の下には安全のため、必ず格子を取り付けてください。 ・床はデッキ材とし、フローリングには出来ません。

施工上のお願い

■設置条件

●床はデッキ材とし、フローリングにはできません。

施主様へのお願い

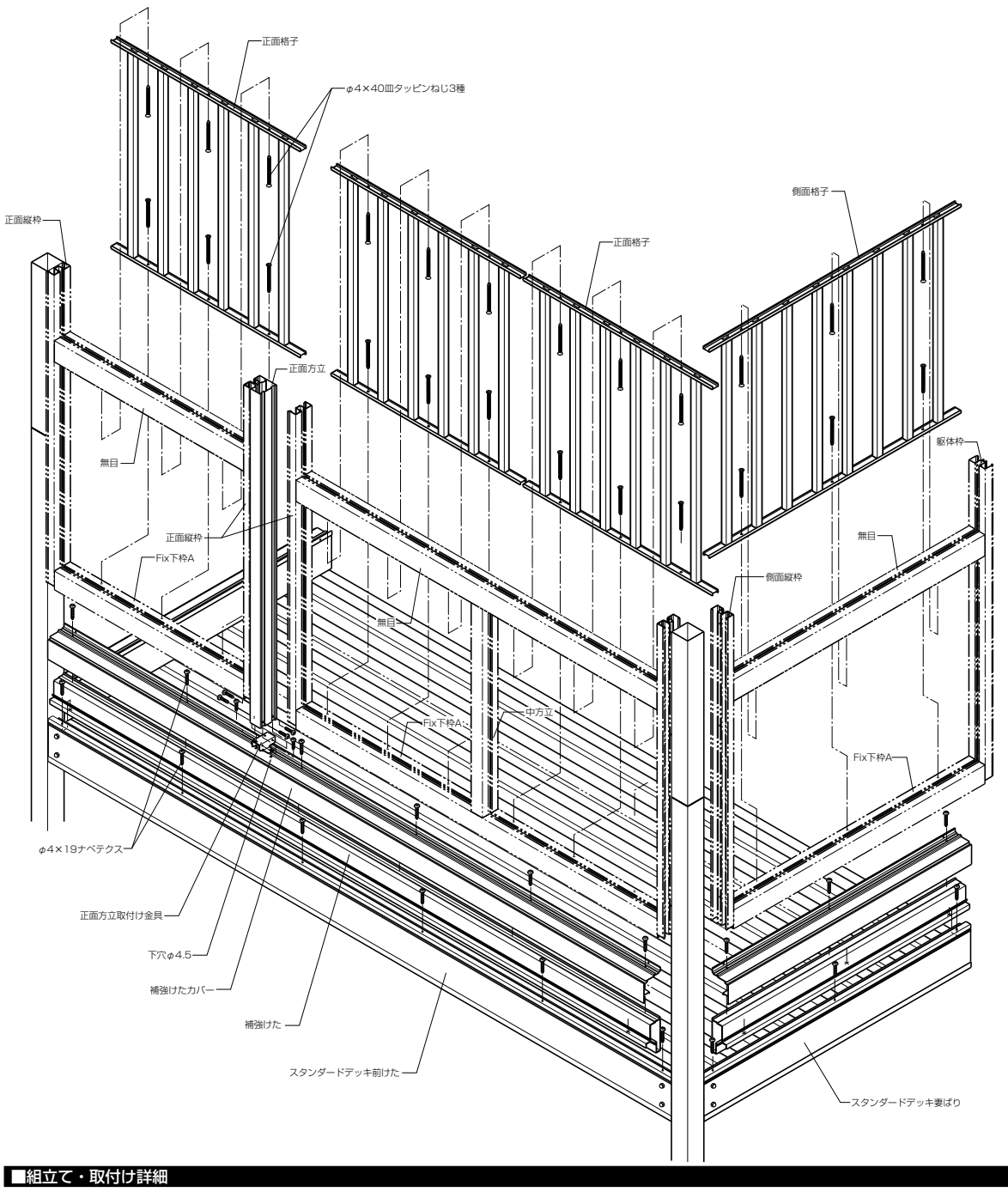
●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠注意…取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

■製品の破損による物の落下・人の転落のおそれがありますので、次の項目を守ってください。
①300kg(4人相当)を超える人数でのらないでください。商品が破壊され、転落するおそれがあります。
②床面に30kgを超える物を設置しないでください。製品破損による被害のおそれがあります。

■各部名称図



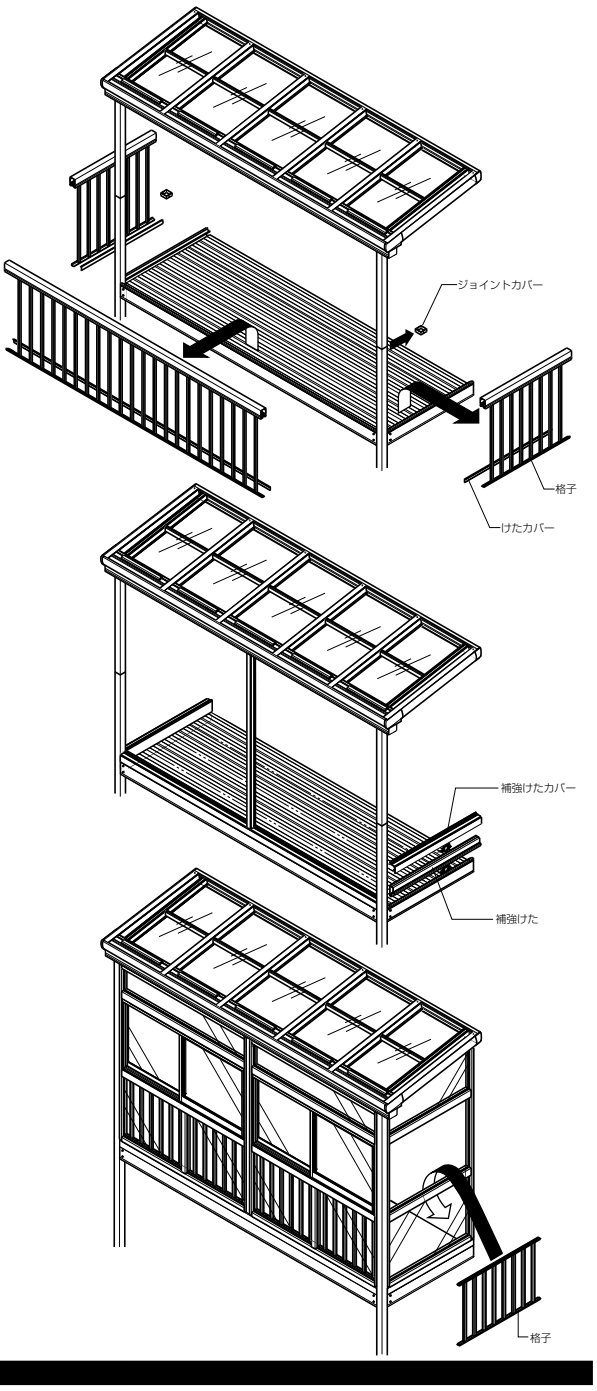
■取付け順序

1 フレーム部材の組立て・取付け

①サマンテラス又はカーブテラスⅡB型＋スタンダードデッキを付属の取付け説明書に従い組み立てます。（ただし、600形のテラスには補強けたを取り付けます。両端スパンのみ野縁は付けません。又、スタンダードデッキの格子とけたカバー・ジョイントカバーも外しておきます。屋根柱固定金物をテラス柱固定金具と交換します。）
②補強火打ちを根太の下面に取り付けます。
③柱の位置に合わせて両端スパンに一本づつ補強垂木を取り付け、切詰め加工した野縁を取り付けます。
④スタンダードデッキのけたの上に補強けた及び補強けたカバーを取り付け、ねじで固定します。
〔スタンダードデッキ納まりでは、水受け材は連結部以外は不要です。〕
●以下は土間納まりと同じ要領で取り付けてください。
⑤縦枠・躯体枠を加工（裏面参照）して各ユニットを組み立てた後、取り付けてください。

2 格子の取付け

①落下防止のため、腰パネル部には必ず格子を室内側より取り付け、無目（押縁）とFix下枠にしっかりと固定してください。

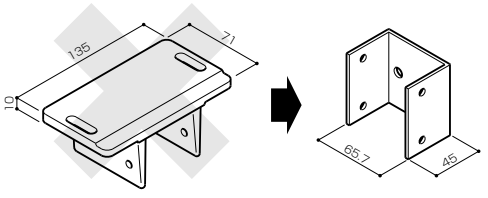


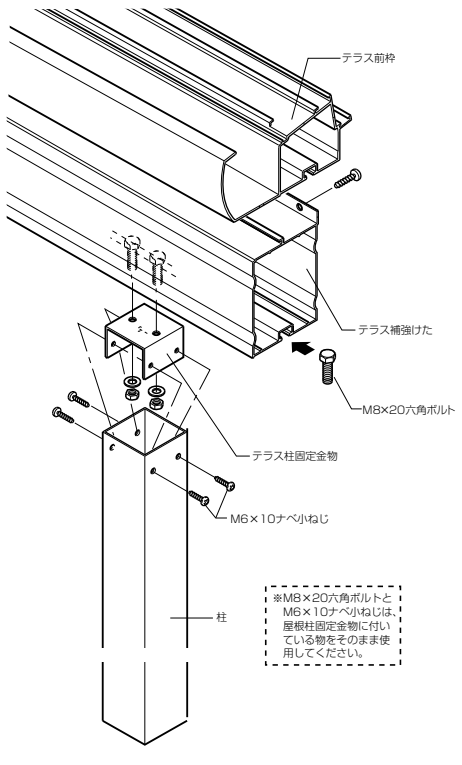
■組立て・取付け詳細

■①柱固定金物の交換

屋根柱固定金物をテラス柱固定金物と交換して柱を取り付けてください。
※この時、屋根柱固定金物の10mm分の高さが短くなるので注意してください。

〈屋根柱固定金物〉　〈テラス柱固定金物〉

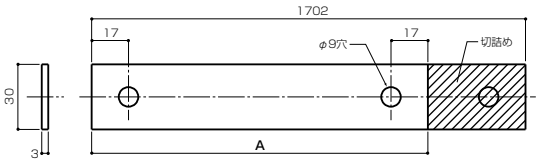




※M8×20六角ボルトとM6×10ナベ小ねじは、屋根柱固定金物に付いている物をそのまま使用してください。

■②補強火打ちの取付け

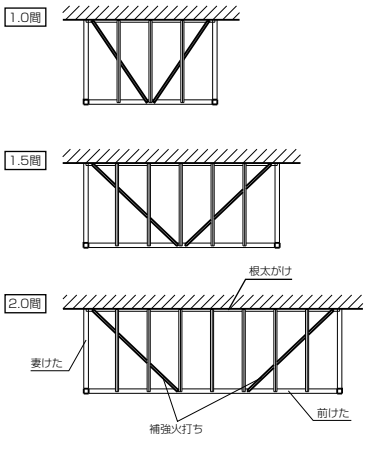
●バルコニーのゆれを押さえるために補強火打ちを取り付けます。
●取付け伏せ図のように前けたと根太がけのボルトホールにM8ボルト・ナットで取り付けます。
●根太の下を交差する所で補強火打ちがぶつついて音鳴りしないようにφ4×19ナベテクスで補強火打ちを根太にねじ止めします。
※補強火打ちは間口1.5・2.0間出幅4尺用に設定されています。その他機種は下図のように加工してください。



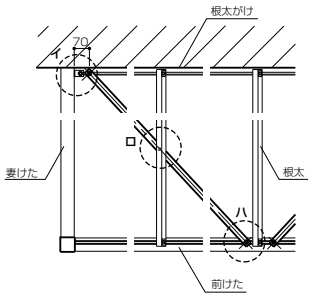
●A寸法表

出幅＼間口	1.5・2.0間	1.0間
3尺	1512	1097
4尺		1349

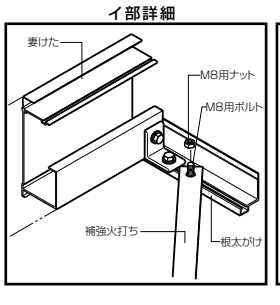
〔補強火打ち取付け伏せ図〕



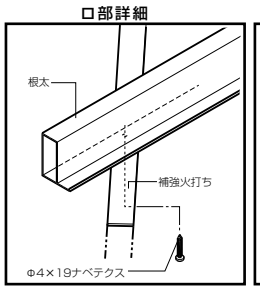
〔補強火打ち取付け詳細〕



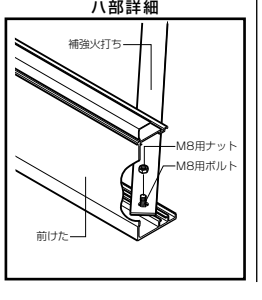
イ部詳細



ロ部詳細

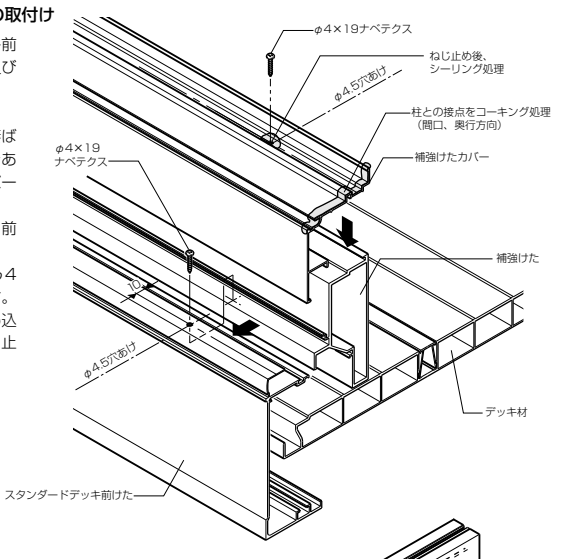


ハ部詳細



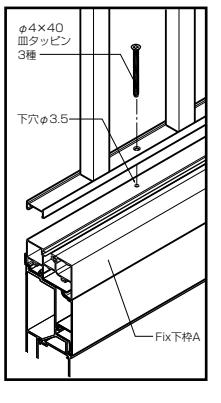
■③補強けた・補強けたカバーの取付け

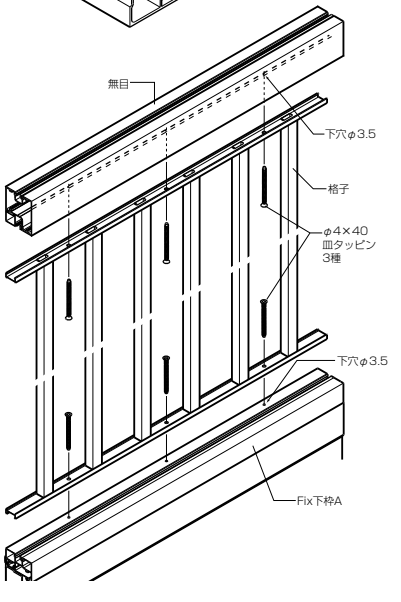
●囲いたい面のスタンダードデッキ前けた（妻ばり）の上に補強けた及び補強けたカバーを取り付けます。（けたカバーは付きません。）
●スタンダードデッキの前けた（妻ばり）に下図のようにφ4.5の穴をあけます。（ピッチは補強けたカバーの穴に合わせてください。）
●補強けたをバルコニーの内側より前けた（妻ばり）にはめ込みます。
●前けた（妻ばり）と補強けたをφ4×19ナベテクスでねじ止めします。
●補強けたカバーを補強けたにはめ込み、φ4×19ナベテクスでねじ止めします。



■④格子の取付け

●パネルをはめ込んだ後、無目とFix下枠Aの間に格子をはめ込みます。
●押縁、Fix下枠Aに写し穴φ3.5をあけます。
●φ4×40皿タッピン3種でねじ止めします。



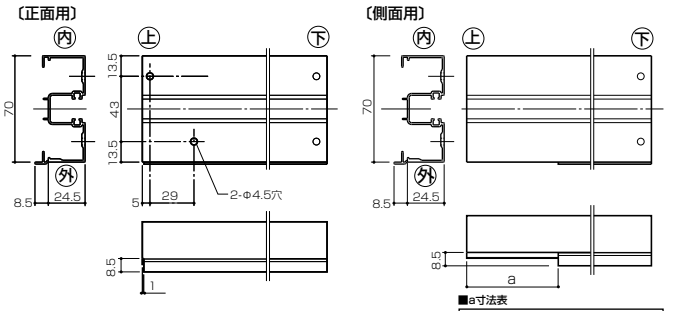


■部材の加工

※組立て・取付けについては「サマンテラス接続タイプ」、「カーブテラスⅡB型接続タイプ」取説をご覧ください。

〈サマンテラス接続タイプ〉

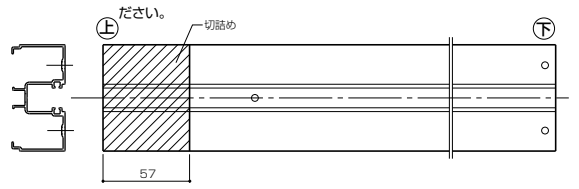
■縦枠加工



■a寸法表

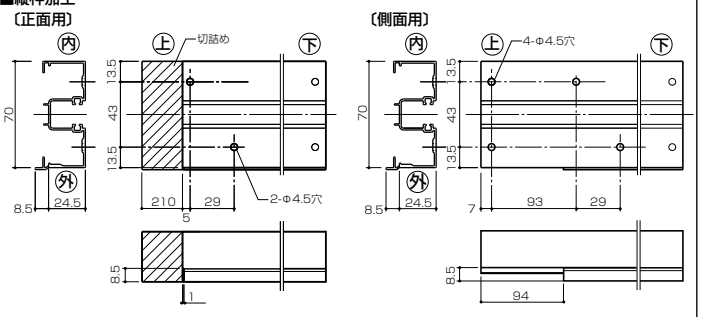
600形（補強けたなし）	:a=0
1500形（補強けた 95mm）	:a=94
3000形（補強けた125mm）	:a=124
出幅自在けた	:a=60.3

■躯体枠加工 ※躯体枠は出幅4尺用に設定されていますので、出幅3尺用は下図のように加工してください。

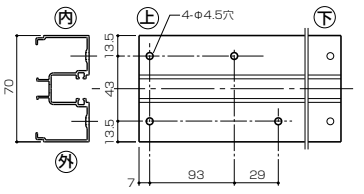


〈カーブテラスⅡB型接続タイプ〉

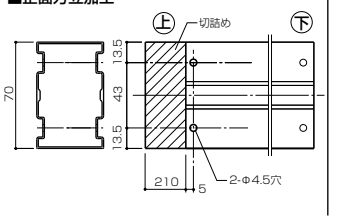
■縦枠加工



■躯体枠加工

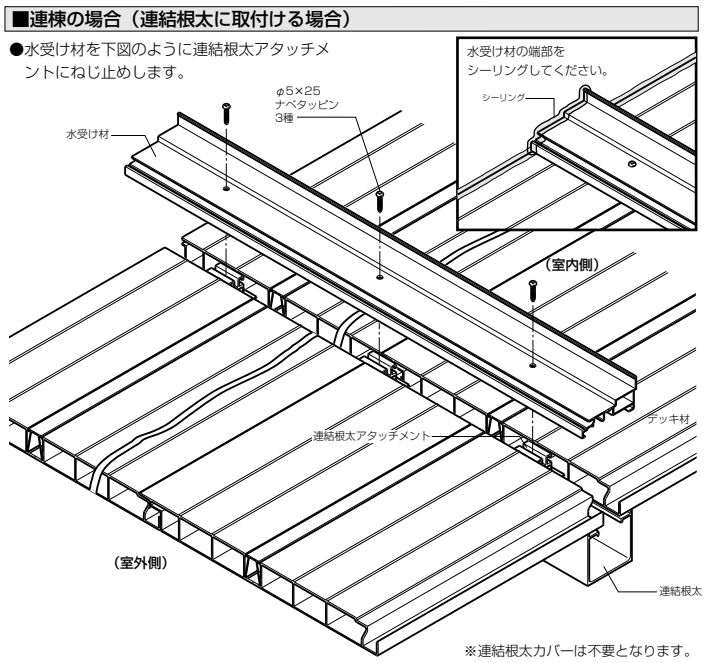


■正面方立加工



■連棟の場合（連結根太に取付ける場合）

●水受け材を下図のように連結根太アタッチメントにねじ止めします。

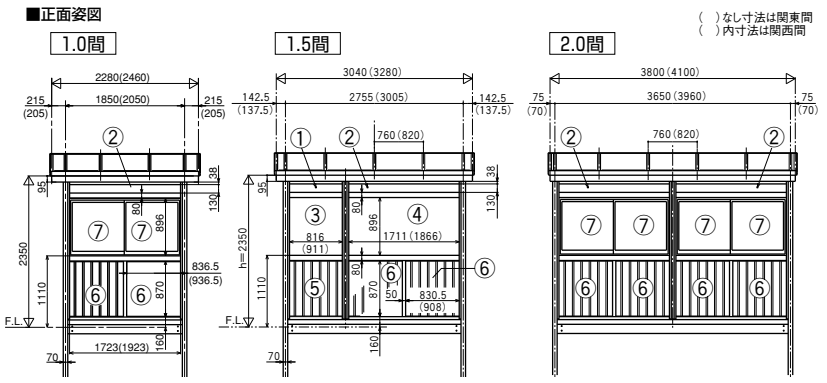


※連結根太カバーは不要となります。

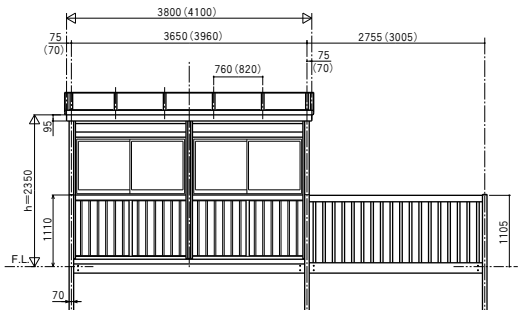
■姿図

〈サマンテラス接続タイプ〉

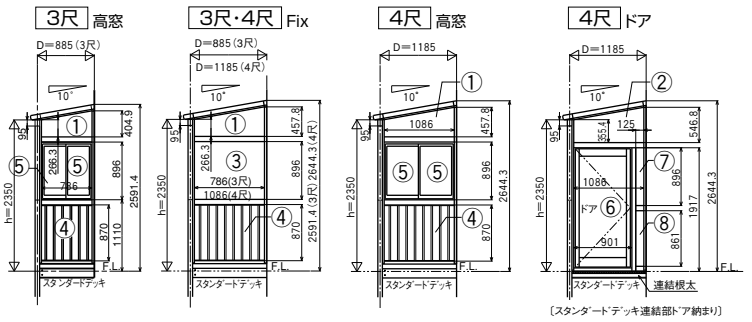
■正面姿図



ほせるんです 2.0間 ＋ スタンダードデッキ 1.5間



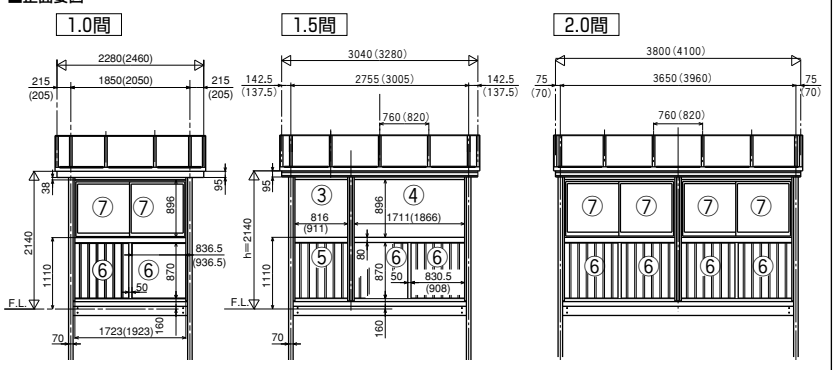
■側面姿図



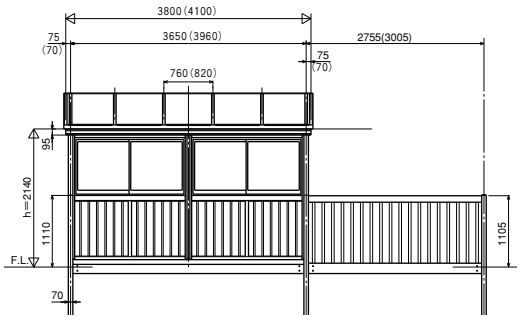
〔スタンダードデッキ連結部ドア納まり〕

〈カーブテラスⅡB型接続タイプ〉

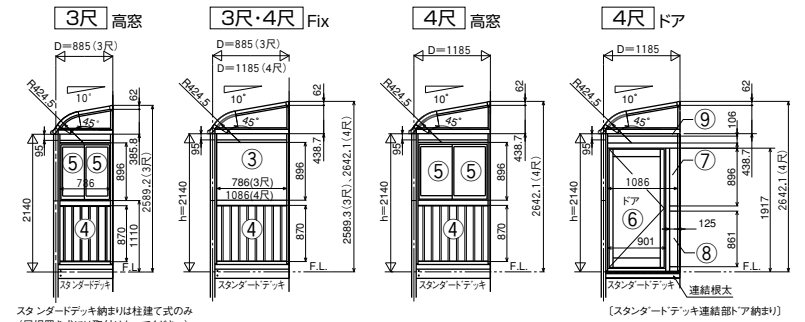
■正面姿図



ほせるんです 2.0間 ＋ スタンダードデッキ 1.5間



■側面姿図



スタンダードデッキ納まりは柱建て式のみ
（屋根置き式には取付けないでください）

〔スタンダードデッキ連結部ドア納まり〕

■パネル・ガラス寸法表（スタンダードデッキ納まり）

【正面】

		関東間 正面6尺(1.5・2間用)	関西間 正面6尺(1.5・2間用)	関東間 正面1間用	関西間 正面1間用
①	ランマ	148× 830	148× 925		
②	ランマ	148×1725	148×1880	148×1737	148×1937
③	Fix窓	914× 830	914× 925		
④	Fix窓	914×1725	914×1880		
⑤	Fix窓下	888× 830	888× 925		
⑥	Fix窓下	888× 844	888× 922	888× 850	888× 950
⑦	高 窓	764× 818	764× 896	764× 824	764× 924

【側面】

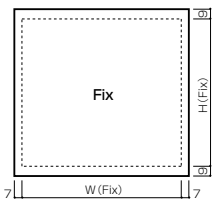
		3尺	4尺	
①		283・424×800	283・477×1100	ランマ
②		ランマ・連結部ドア	372・564×1100	ランマ・サマン用
③		914×800	914×1100	Fix窓
④		888×800	888×1100	Fix窓下
⑤		764×356	764× 506	高窓
⑥	ドア 一枚ガラス		1584×745	ドア
	ドア 中桟付き上		781×745	
	ドア 中桟付き下		697×745	
⑦		ドア横Fix窓	914×139	Fix窓
⑧		ドア横Fix窓下	879×139	Fix窓下
⑨		ランマ・連結部ドア	124×1100	ランマ・カーブ用

〈パネル・ガラスのみ込み寸法〉

■引違い窓・テラス=片側6mm
〔グレチャン使用〕

■ドア＝片側7mm〔グレチャン使用〕

■Fix〔後付けビード使用〕

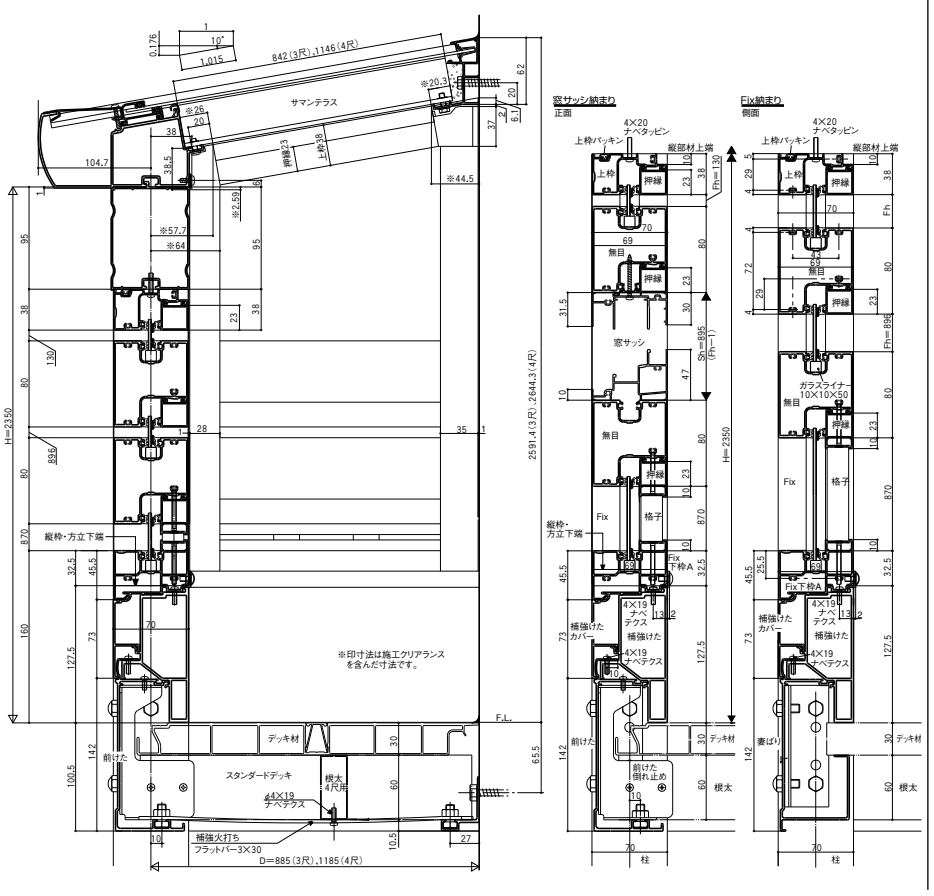


※窓下にはガラスを入れないでください。
割れると危険です。

■基本断面図

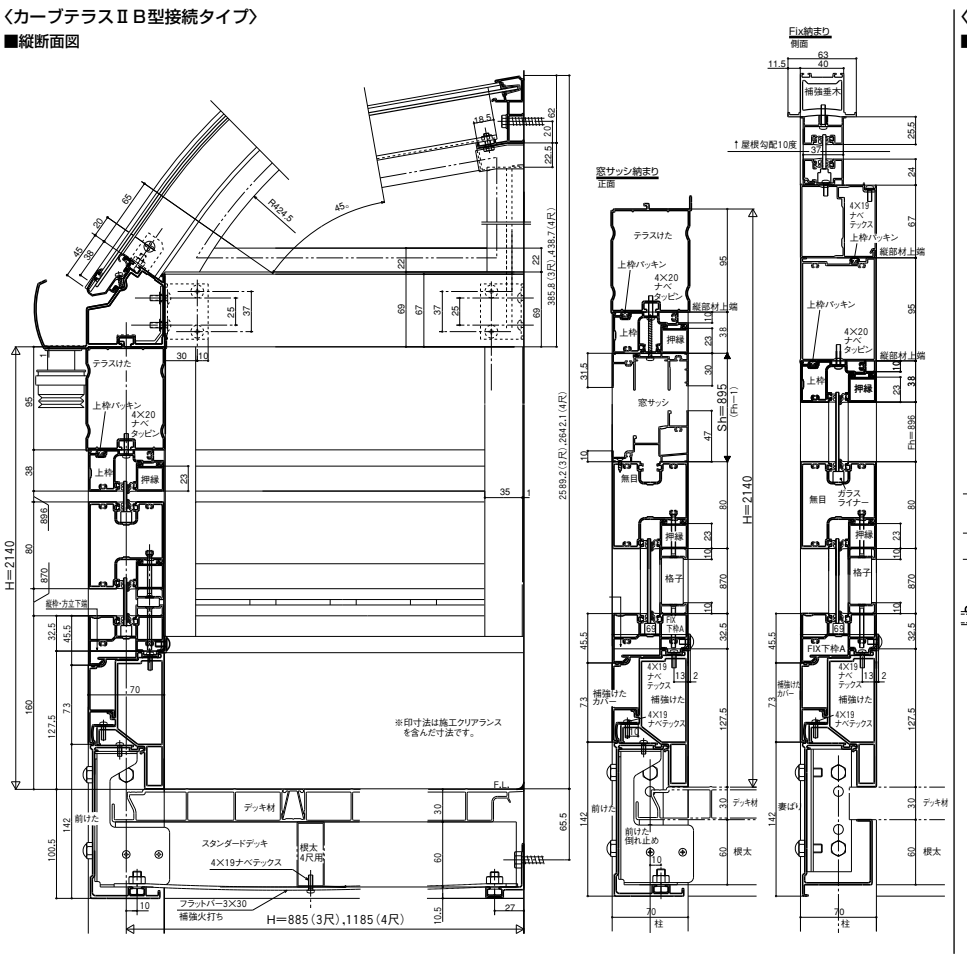
〈サマンテラス接続タイプ〉

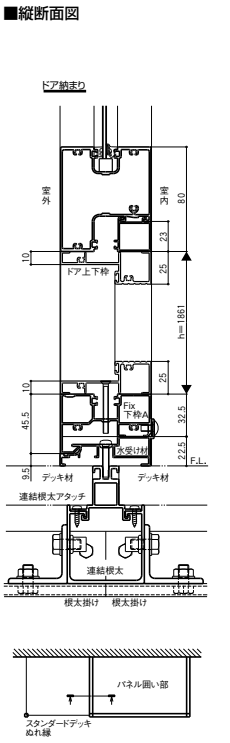
■縦断面図



〈カーブテラスⅡB型接続タイプ〉

■縦断面図



〈連棟部〉

■縦断面図